

朝倉市、および、筑後川流域版マングラ図 (2030-2050)

「豊かな自然資源」で「仕事づくり」。
「自然環境と仕事」が「人」を呼ぶ好循環
(豊かな地域資源の活用と
持続可能な住環境の発信)

① 「持続可能な開発とは？」
自問自答できる人財による
SDG s 事業の体現・発信

① 「豊かな自然資源」
で仕事/経済の創造

② 魅力(地域資源)の発見/発信/経済開発、
共通資産(魅力)の流域一体的なPRの欠如

③ 水(酒蔵等)と土壌(フルーツ等)、テレ
ワーク居住適地としての豊かな自然環境

④ 観光資源など流域共通資産の活用。
流域一体での取組としての、ワークショッ
プ等の開催、および、協働・実践

⑤ ■ 流域で一体的協働推進/人材育成
■ 持続可能な地域づくりの場・機会
(「観光」以外の共通課題解決・共通資源
活用の場・機会に発展することを期待)

② 竹やぶによる生物多様性損失・地盤
脆弱化・景観悪化 (過疎化の加速化)

③ 竹に関わる事業の担い手 (副業)
としての住民、移住者など

④ 酵素風呂、竹の堆肥・肥料を使った
有機農産品

⑤ ■ 豊かな植生の回復と生業/ビジネス
創出の両立
■ 地域外消費者による消費 (農産・食
料品、酵素風呂来訪など観光)

⑤ 域外への資金 (エネルギーコスト) 流出防止・域内循環

④ 再エネ設備の普及、エネルギーコストの地域内売買・対外支出削減

③ 発電ポテンシャル(屋根/水流など活用)、エネルギー対外支出額
(料金支払額相当の資金の域内残留可能性)

② 水力・太陽光などが
エネルギーとして未利用

② エネルギー料金支払が地域内で循環
しない(福岡市や海外へお金が流れる)

SDG s バンブープロジェクト
～里山保全でお仕事づくり～

エネルギー料金の
域外への流出防止と
災害時電源確保事業

筑後川流域 観光連携会議
～地域人財による地域資
源の開発と一体的PR～